

令和 7 年度の実績について

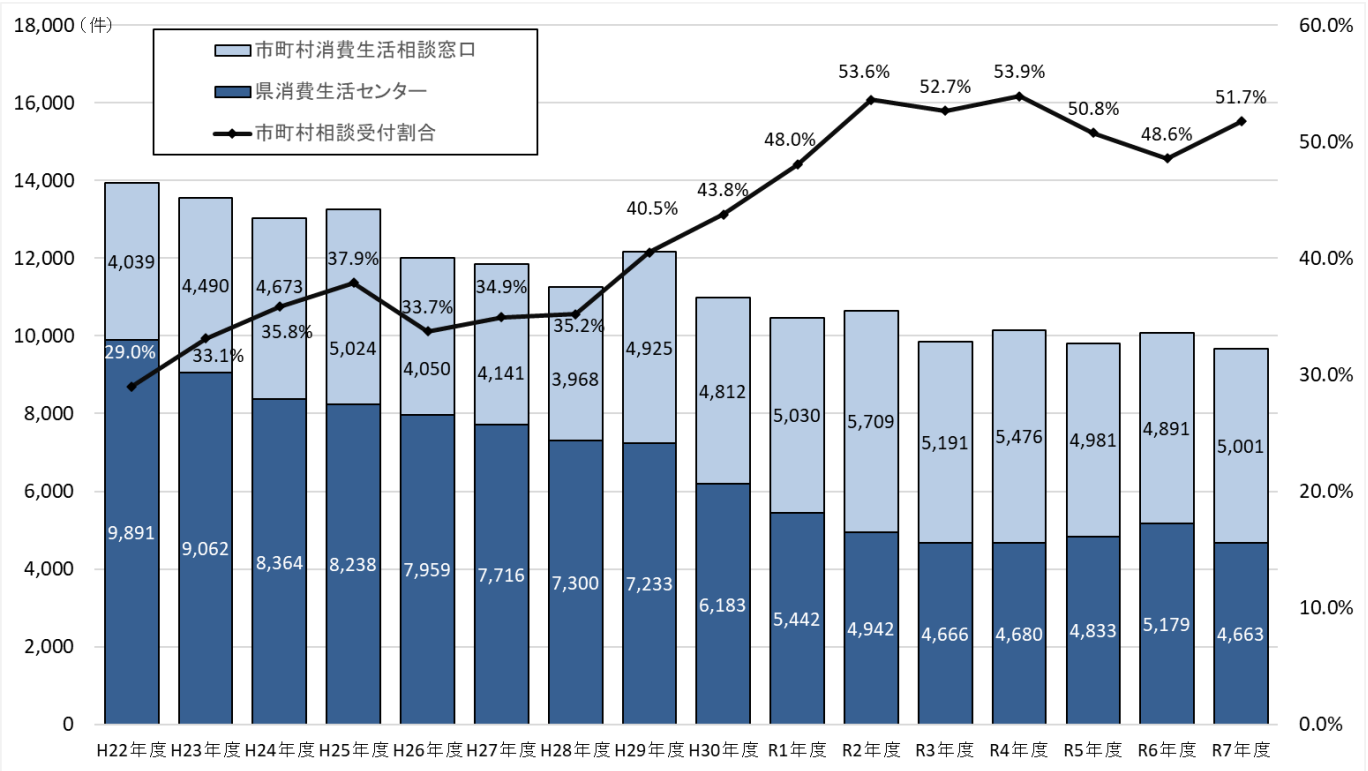
① 県内消費生活センターの相談・啓発の状況等について

1 令和7年度の相談事業

(1) 県内の相談受付件数

県消費生活センター（支所を含む）が受け付けた令和7年度の消費生活相談受付件数は、4,663件、市町村の相談窓口が受け付けた件数は、5,001件で、県内の令和7年度の消費生活相談受付件数は、9,664件となっている。

県内消費生活相談窓口の相談受付件数



(2) 商品・役務別の相談状況（上位10項目） ※県受付

内容としては、身に覚えのないメール等の「商品一般」に関する相談が最多で、次いで、定期購入の「化粧品」、副業サポート等の「役務その他」に関する相談の順となっている。

順位	商品・役務	件数	主な相談内容
1	商品一般	471	大手事業者をかたった身に覚えのない不審なメール
2	化粧品	320	定期購入の解約
3	役務その他	245	広告代理サービス、占いサイト
4	健康食品	238	定期購入の解約
5	工事・建築・加工	232	訪問点検による分電盤工事、リフォーム工事
6	レンタル・リース・貸借	183	賃貸アパート退去時の現状回復費用
7	移動通信サービス	149	携帯電話の料金、解約
8	融資サービス	148	消費者金融ローン、多重債務や借金の債務整理
9	自動車	111	中古車の売買契約、インターネット通販での購入
10	紳士・婦人洋服	97	インターネット通販での偽サイトや別物の納品

(3) 年代別の相談状況 ※県受付分

年代別では、60歳以上の方（契約者）からの相談が約46%を占めている。

(※)令和7年度の相談受付4,663件のうち、苦情4,520件の内訳。

年代	件数・割合	商品・役務別の相談状況（上位5項目）
20歳未満	111(2.5%)	①他の教養・娯楽(25) ②化粧品(13) ③紳士・婦人洋服(12) ④娯楽等情報配信サービス(9) ⑤商品一般(8)
20歳代	313(6.9%)	①理美容(29) ②レンタル・リース・貸借(24) ③役務その他(23) ④自動車(21) ⑤内職・副業(21)
30歳代	312(6.9%)	①レンタル・リース・貸借(34) ②商品一般(25) ③役務その他(21) ④内職・副業(21) ⑤融資サービス(16)
40歳代	471(10.4%)	①商品一般(45) ②役務その他(32) ③化粧品(27) ④レンタル・リース・貸借(27) ⑤融資サービス(24)
50歳代	606(13.4%)	①商品一般(59) ②化粧品(51) ③健康食品(35) ④レンタル・リース・貸借(25) ⑤役務その他(25)
60歳代	703(15.6%)	①化粧品(89) ②商品一般(61) ③健康食品(52) ④役務その他(32) ⑤工事・建築・加工(27)
70歳以上	1,394(30.8%)	①商品一般(164) ②工事・建築・加工(152) ③健康食品(112) ④化粧品(108) ⑤電報・固定電話(58)
不明	610(13.5%)	①商品一般(96) ②役務その他(59) ③レンタル・リース・貸借(32) ④融資サービス(29) ⑤相談その他(24)
計	(※) 4,520(100%)	①商品一般(471) ②化粧品(320) ③役務その他(245) ④健康食品(238) ⑤レンタル・リース・貸借(232)

(4) 市町村窓口の相談受付件数

市町村の相談窓口が受け付けた令和7年度の消費生活相談受付件数は、5,001件となっている。広域連携により県内全域をカバーするかたちで市町村の相談窓口を平成29年度から設置し、令和2年度以降は市町村窓口への相談が県窓口への相談と同数程度となっている。

地区	相談件数			地区	相談件数		
	苦情	問合せ ・要望	計		苦情	問合せ ・要望	計
宮崎	2,115	152	2,267	西諸	257	37	294
都城	454	77	531	日向	471	44	515
延岡	586	129	715	児湯	446	7	453
日南	147	79	226	計	4,476	525	5,001

※ 地区について

宮崎:宮崎市消費生活センター管内（宮崎市、国富町、綾町）

都城:都城市消費生活センター、三股町福祉・消費生活相談センター管内（都城市、三股町）

延岡:延岡市消費生活センター管内（延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）

日南:日南串間消費生活センター管内（日南市、串間市）

西諸:西諸県地域消費生活相談窓口管内（小林市、えびの市、高原町）

日向:日向地区広域消費生活センター管内（日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町）

児湯:西都児湯消費生活相談センター管内（高鍋町、西都市、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町）

(5) 商品・役務別の相談状況（上位10項目） ※市町村窓口受付分

順位	商品・役務	件数	順位	商品・役務	件数
1	商品一般	637	6	レンタル・リース・貸借	181
2	化粧品	382	7	金融・保険サービス	171
3	役務その他	278	8	インターネット通信サービス	156
4	融資サービス	264	9	工事・建築・加工	128
5	健康食品	227	10	移動通信サービス	110

(6) 年代別の相談状況 ※市町村窓口受付分

年代別では、60歳以上の方（契約者）からの相談が約50%を占めている。

(※)令和7年度の相談受付5,001件のうち、苦情4,476件の内訳。

年代	件数・割合	商品・役務別の相談状況（上位5項目）
20歳未満	71件 (1.6%)	①他の教養・娯楽（10） ①娯楽等情報配信サービス（10） ③健康食品（8） ④商品一般（6） ⑤化粧品（5）
20歳代	288件 (6.4%)	①役務その他（37） ②融資サービス（27） ③商品一般（24） ④レンタル・リース・貸借（20） ⑤金融・保険サービス（15）
30歳代	289件 (6.5%)	①商品一般（31） ②レンタル・リース・貸借（30） ③融資サービス（26） ④役務その他（15） ⑤インターネット通信サービス（14）
40歳代	464件 (10.4%)	①商品一般（61） ②融資サービス（35） ③化粧品（33） ④レンタル・リース・貸借（25） ⑤健康食品（22）
50歳代	573件 (12.8%)	①化粧品（78） ②商品一般（54） ③融資サービス（46） ④健康食品（32） ⑤役務その他（24）
60歳代	726件 (16.2%)	①化粧品（114） ②商品一般（88） ③健康食品（46） ④融資サービス（42） ⑤役務その他（31）
70歳以上	1,521件 (34.0%)	①商品一般（255） ②化粧品（122） ③健康食品（99） ④役務その他（88） ⑤融資サービス（63）
不明	544件 (12.2%)	①商品一般（118） ②役務その他（59） ③レンタル・リース・貸借（33） ④インターネット通信サービス（25） ⑤融資サービス（24）
計	(※) 4,476件	①商品一般（637） ②化粧品（382） ③役務その他（278） ④融資サービス（264） ⑤健康食品（227）

① 電話相談

年 度	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7
相談件数	2 0 3	2 0 7	2 1 3	2 2 5	2 0 9	2 3 7

② 巡回訪問

延岡支所 10回（延岡市、日向市）

④ レベルアップ研修会

R6年度からは国家試験の小論文対策講座も実施。

5

2 令和7年度啓発業務実績

(1) 出前講座

特に被害に遭いやすい高齢者や判断力が不十分な中高生等若者を中心に講座を実施し、自立した消費者の育成を図っている。

● 実績

区 分 \ 年 度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		件 数	件 数	件 数	受講者数	件 数	受講者数
一 般		3	7 8	8	2 4 9	7	2 0 6
高 齢 者		9 4	2, 2 0 5	6 6	1, 2 7 7	6 1	1, 6 2 9
見 守 り 者		8	2 2 1	8	2 3 3	1 5	4 3 9
若 年 者		1 3 0	8, 0 9 4	1 5 1	9, 6 9 3	1 5 7	9, 0 4 7
若 年 者 内 訳	小 中 学 校	6 8	3, 0 9 8	8 7	3, 7 5 9	9 2	3, 3 8 0
	高 校	5 1	4, 3 1 0	4 4	4, 2 6 7	4 8	3, 5 9 4
	大学・専門学校等	7	5 7 9	1 1	1, 4 3 5	1 1	1, 8 1 9
	教職員・保護者	2	6 5	6	1 7 9	4	2 0 4
	社 会 人	2	4 2	3	5 3	2	5 0
計		2 3 5	1 0, 5 9 8	2 3 3	1 1, 4 5 2	2 4 0	1 1, 3 2 1

● 内容

テ ー マ	主な講義内容
① 暮らしの中の契約	・契約の基礎知識 ・クーリング・オフ制度 ・悪質商法や振り込め詐欺の手口とトラブル事例 など ・悪質商法の手口とトラブル事例 (若年者向け) ・ネット取引に関するトラブル (若年者向け) ・クレジットカードの仕組みと上手な利用法 (若年者向け) など
② 悪質商法から高齢者等を守る (民生委員、ヘルパー等向け)	・契約の基礎知識 ・クーリング・オフ制度 ・悪質商法や振り込め詐欺の手口とトラブル事例 ・高齢者等の被害を未然に防ぐための気配り・目配りのポイントなど
③ 知っておきたい食品表示	・消費期限と賞味期限 ・原産地表示のルール ・有機食品や遺伝子組換え食品の表示 ・表示 (栄養成分、食品添加物、アレルギー表示) など
④ クリーニングの基礎知識	・クリーニングのかしこい利用法 ・家庭でできるクリーニング術 ・洗剤が汚れを落とすしくみ ・水洗いとドライクリーニングの違い ・クリーニングトラブル など

(2) マスメディアの活用（主なもの）

テレビ・ラジオ・新聞等のマスメディアを活用して、悪質商法の実態等の情報を提供し被害の未然防止を図るとともに、消費生活センターの周知を図っている。

① テレビ

- ・CM（UMK及びMR T：悪質商法、センター周知 等 計 80 回）
- ・番組出演による悪質商法啓発（UMK 1 回（4 時どき）、MR T 2 回（check））

② ラジオ

- ・CM（MR T 及び FM 宮崎：悪質商法 162 回）
- ・MR T「フレッシュ AM！もぎたてラジオ」（毎週水曜日 10 時 15 分から（6 分程度））52 回
- ・MR T「スクーパー」1 回
- ・FM のべおか「くらしに役立つホットライン」（第 1・3 火曜日 11 時 10 分から（10 分程度））24 回
- ・FM 宮崎「Hybrid Morning」2 回、「耳が恋した」3 回

③ 新聞

- ・宮崎日日新聞「くらしの相談」（年 8 回）
- ・宮崎日日新聞紙面広告（1 回（シニア特集））

④ インターネット広告（CM 配信）

配信期間：令和 7 年 12 月～令和 8 年 2 月（3 か月）

- ・YouTube、Instagram 合わせて約 62 万回 表示

⑤ その他

- ・ホームページ、X（旧 Twitter）

(3) 若年者対策

① 高校におけるパネル展示

県内全ての高等学校で悪質商法等を紹介するパネル展を実施

② 消費者教育指導力向上研修

日 時：令和 7 年 8 月 6 日（水）10 時～12 時

講 師：消費者教育コーディネーター 菊池 真由美

テーマ：キャッシュレス決済時代にかしこく生活するための消費者教育の大切さ

参加者：計 21 名（消費者教育担当教員、小中高校家庭科・社会科担当教員等）

③ その他

県内の大学及び専門学校に通う学生 5,000 名に対し啓発グッズ及び啓発チラシを配布

(4) その他の啓発活動等

① 啓発キャンペーン

大型商業施設等においてパンフレットや啓発グッズを配布し、相談窓口を PR

② 印刷物等の発行

- (ア) センター情報紙「アリンコちゃんの消費生活だより」 12 回発行（HP に掲載）
- (イ) 啓発リーフレット「あの手この手の悪質商法」 90,000 部（45,000 部×2 回）
- (ウ) 身近に潜む悪質商法 6,000 部（主な配布先：大学及び専門学校の新入学生）

③ 図書館パネル展

- (ア) 宮崎県立図書館：令和 7 年 5 月 14 日（水）～5 月 25 日（日）
- (イ) 宮崎市立佐土原図書館：令和 8 年 2 月 3 日（火）～2 月 24 日（火）
- (ウ) 綾てるは図書館：令和 8 年 3 月 11 日（水）～3 月 25 日（水）
- (エ) 川南町立図書館：令和 8 年 2 月 25 日（水）～3 月 10 日（火）

④ 消費生活セミナーの開催

- 日 時：令和 7 年 10 月 25 日（土）13 時 30 分～15 時
- 場 所：宮交シティ紫陽花ホール
- 講 師：落語家 夢見亭わっぱ
- テーマ：笑って撃退！悪質商法
- 参加者：計 76 名

⑤ 消費者フェスタの開催

- 日 時：令和 7 年 10 月 25 日（土）10 時 00 分～16 時
- 場 所：宮交シティ内各会場
- 内 容：消費生活をテーマにしたコントやクイズ大会、スタンプラリー
- 参加者：延べ 372 名

⑥ 金融教育親子セミナーの実施

- 日 時：令和 7 年 7 月 26 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分
- 場 所：宮崎県生活情報センター交流ホール
- 講 師：逆瀬川 美和子（J-FLEC）
- テーマ：みやぎキッズ 2025～お金のたいせつさを学ぼう～
- 参加者：76 名（親子 32 組）